

ハイタムラソウ

Salvia omerocalyx Hayata var. *prostrata* Satake
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県の固有変種で、産地も限られている。

分布

本県のみ分布。嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山地の木陰に生える多年草。茎の基部は這い、節間が伸び、葉をややまばらに付ける。葉は長柄があり、羽状に分かれ、頂羽片は大きく長さ2～5 cm、幅1～3 cm、側羽片は少し小さい。5～6月頃、高さ5～10 cmの花茎を出し、密な花穂を付ける。花冠は唇形で紫色。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）、福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○		○				○					○

ヒメナミキ

Scutellaria dependens Maxim.
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分布

北海道、本州、九州に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

湿地の草原に生える多年草。全体にやや無毛で、茎は直立し高さ20～40 cmになり、いくらか分枝し、地下に細長い走出枝を出す。葉は1～3 mmの葉柄があり、長さ1～2 cm、幅6～10 mm、薄い。6～8月頃、白色でわずかに淡紅紫色を帯びた花が葉腋に1個ずつ付く。

生育を脅かす要因

河川改修や植生遷移等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	○

ハマウツボ

Orobanche coeruleascens Stephan ex Willd.
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地が極めて限られ、個体数も少ない。

分布

北海道～九州に分布する。県内では嶺南と嶺北の海浜に生育する。

種の特徴

海浜や川原の砂地や砂礫地に生育し、ヨモギ属、特にカワラヨモギの根に寄生する一年生草本。茎は全体に軟毛に覆われ黄褐色で太く、5月の終わり頃から7月にかけて、高さ20 cmほどの太い花茎をだす。花は紫色で美しい。

生育を脅かす要因

生育地が海岸改修、河川改修等の開発の対象となることが多く、また踏みつけ等により種の存続への圧迫が強まっている。珍しい植物のため園芸採取の対象になりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○					○						○